

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第10回高士区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

・旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について

3 開催日時

令和4年3月23日（水）午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

高士地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：青木正紘（会長）、上野秀平、玄蕃郁子、杉田一夫、高橋清司（副会長）

田中利夫、塚田春枝、日向こずえ（副会長）、松山公昭（欠席3人）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長

8 発言の内容（要旨）

【小林センター長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青木会長】

・挨拶

【小林センター長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【青木会長】

・会議録の確認者：塚田委員

次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について」に入る。

資料1の高士小学校の児童を対象としたアンケートについて、事務局より説明を求める。

【小林センター長】

資料1について、高士小学校との協議経過を含め説明

【青木会長】

アンケートについて意見を求める。

【松山委員】

アンケートは授業中に行うのか、または家に持ち帰るのか。

できれば授業中に、先生から説明いただいてから記入し、回収してもらいたい。保護者へのアンケートは児童のアンケート終了後に行った方がよい。

【小林センター長】

松山委員の意見のとおり、授業中に行う予定にしている。低学年には先生からよく説明いただいた上で、回答してもらうようお願いする予定である。

【玄蕃委員】

小学生には難しい言葉や漢字が散見されるので、ルビを振るなど配慮していただきたい。また、問4が一番抽象的な質問になっているので答えにくいかもしれない。

問4にその他欄がないのは質問が難しいからだろうか。

そのほかに、アンケートの結果を提出した後に、小学生への回答方法も考えておかななくてはならない。

【小林センター長】

選択肢を結びつける言葉を、質問文に入れて連想しやすく工夫した。問4では「みんなの暮らしや学びのための広場」としてあるが、これが一番苦労した。何か委員の皆さんから適当な言葉があればご教示願いたい。

また、アンケートの結果が出たら、グラフやランキングにして、小学生にわかりやすく伝えたいと思う。

【松山委員】

スポーツ広場の活用策についてイメージを広げてもらうため、小学生には文字の他

に絵で表現してもらいたい。

【青木会長】

出た意見を踏まえ、アンケートの実施に向けて準備を進めてよいか挙手願う。

(全員挙手)

【小林センター長】

委員の意見を参考にしながら、高士小学校の先生とアンケート実施に向けて準備を進めていきたい。同時に教育委員会にも了解を取っておきたい。

【青木会長】

次に資料2・3について事務局より説明を求める。

【小林センター長】

資料2・3について説明

【青木会長】

資料2について意見を求める。

【上野委員】

資料2「検討シート2」は前に比べて見易くなっている。これまでの意見が絞り込んであって、これを今後活用していきたい。

また、高士地区体育協会では、4月26日の総会でスポーツ広場を活用した事業について計画を示す予定である。この場を借りて情報提供させていただく。

【日向副会長】

自分たちの意見を伝える方法として、最終的には意見書があるとのことで安心した。意見書と作ることも大変な作業だが、アンケートを取った結果によって、一つずつ検討していきたい。

【玄蕃委員】

活用策は一つを選ぶのではなく、複数を結びつけるイメージがあった。いずれにしても資料2やアンケート結果を見ながら、無理なく何かを始めてみるのが大事である。少しずつ色々なものを重ねていくと結果が出てくると思う。ただし意見書を出せば終わりというものではない。意見書のみでは実現は難しいであろう。実現可能な活用策になるように話し合いを続けていくべきではないか。

【杉田委員】

資料2を見て、具体的な「見える化」が為されてきたと思う。アンケートの結果を

見ないとわからないが、少しでも実現に向けて話し合っていきたい。

【田中委員】

わかりやすい資料になっていると思う。ただ資料を使って検討を進めるのはアンケートの結果を見てからということでしょうか。また費用を要しない活用策であれば、この案の中から複数行うことも可能ということでしょうか。

【青木会長】

それでよいと思う。

【塚田委員】

委員研修で吉田先生から聞いた話だが、まず第一歩を踏み出すことが大事とのこと。なるべく第一歩を踏み出せるように話し合いを続けていけばよい。大変だが少し前が見えてきたと思う。

【松山委員】

児童の意見を大切にいただき感謝する。私は児童から、どのような意見が出てきても対応できると思う。現委員の任期中に結論を出したいと思う。

【高橋副会長】

高士地区体育協会から実際に広場を活用してもらい、こうしてほしいと要望がでてきたら一つずつ改善していけばよい。

【松山委員】

高士地区体育協会の事業計画を詳しく伺いたい。

【上野委員】

まだ計画案の段階である。総会で決定したら地域活動支援事業に提案するつもりである。

【松山委員】

地域活動支援事業の事前説明会では、提案団体から広場の活用策について検討していただくようお願いしてあるか。

【小林センター長】

事前説明会の席上で、会長と事務局が重ねて強調をお願いしてある。

【青木会長】

出た意見を踏まえ、次回より資料2を使いながら審議することとしてよいかな。

(よしの声)

以上で次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について」を終了する。

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

— 日程調整 —

- ・ 次回の協議会：4月27日（水） 午後6時30分から 高士地区公民館 大会議室
- ・ 内容：自主的審議事項について

【高橋副会長】

- ・ 閉会の挨拶

【青木会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。